

させばピース展
—海からたどる、時の旅

西果ての ワルツ

B.C.40000
—A.D.2025

海からたどる、 佐世保と世界の四万年

歴史はどの角度からそれを見るかによって表情を変えるものです。

島国—日本の歴史の場合、海からの視点
がそこに奥行きをもたらすことは言う
までもありません。国の中枢からは遠く
離れていて、海の外の世界と隣りあわせ
にあるところ。そこから列島を見つめな
おすとき、歴史はどんな顔をして、わた
したちになにを語りかけるでしょうか。

本展は「西果てのワルツ」をコンセプト
に、日本の「西の果て」に浮かぶ港まち
—佐世保の歴史にスポットを当て、海を
舞台に繰りひろげられてきた「交流」と
「平和」の軌跡をたどります。海の上に
賑やかな道があった先史の時代から、交
易と闘争のふたつの顔を使いわけた中
世、攻めと守りが裏表の鎮守府をむかえ
た近代、そして現代へ。

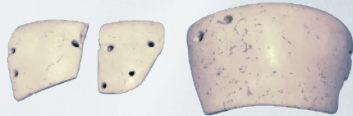
西果ての交流の軌跡 (piece) を集めた
四万年の海から、「いまここ」の平和
(peace) を問いかけます。

5階 Introduction | Sasebo PORT-folio 考古資料と美術品から見渡す、港まち—佐世保の四万年

4階 「環」の海 | Circulating Sea



先史・古代の佐世保
—土器や装飾品が物語る、
天然の港とともに育まれた生活史



左 豆粒文土器 (複製) | 縄文時代草創期 (約16,000年前)
| 泉福寺洞窟出土 | 国指定重要文化財
上 貝輪 | 弥生時代中期～後期 (約2,300年前～1,800年前)

3階 「割」の海 | Dividing Sea



中世・近世の佐世保
—外来の文物から浮かびあがる、
交易と闘争のふたつの顔

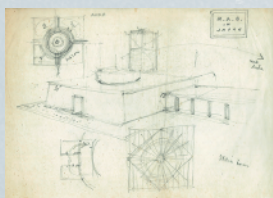


左 真鍮製十字架
右 襖引手マリア像

2階 「渦」の海 | Swirling Sea

近代・現代の佐世保

—戦時品や戦後資料が記録する、軍港のまちの現実と理想のすがた



左 丹阿弥岩吉 | 佐世保鎮守府開
庁の図 | 1889年以降
上 白井晟一 | 原爆堂計画 初期直
筆スケッチ | 1954年頃

1階 「話」の海 | Interactive Sea

いま・ここの佐世保

—現代アートと音楽作品が問いかける、これからの平和のかたち



左 Yotta | 穀 | アートプロジェクト (2016～)



右 佐世保のまちの「いま」を音で綴る。Sasebo Sound Chronicle Award受賞作品展示

会場

佐世保市博物館島瀬美術センター
〒857-0806 長崎県佐世保市島瀬町6番22号
TEL 0956-22-7213
FAX 0956-22-7226
<http://shimabi.com/>

最新情報・イベント情報はこちら



アクセス

[JR佐世保駅 (東口) から]
徒歩約20分 (国道を左に直進。四ヶ町アーケード途中、
右手、島瀬公園内) / タクシー約4分 / バス約5分
(2番バス停乗車、「島瀬町」バス停下車)
[MR佐世保中央駅から]
徒歩約5分 (アーケードを左に直進。途中、右手、島瀬公園内)

